

学力調査 4年ぶり全員参加

小学6年生は24日に文部科学省の全国学力・学習状況調査(学力調査)を受けましたね。子どもたちの学習のよ
 つすを調べて、学校の授業をよくするための調査です。
 今年は4年ぶりに全国のほぼすべての小学校にあたる2
 万校以上で行われました。特徴的だった問題について、
 専門の先生にも話を聞きました。
 (今井尚 岩本尚子)



学力調査にのぞむ子どもたち＝24日、東京都内の小学校で、松村大行写す

がくしゅう せいかつ げんじょうしら
学習や生活の現状調べる

「学力調査は、子どもたちの『学力』と『学習状況』がどんなようすかを全国に調べる調査です。」

「学力」の調査では国語と算数のテストをして、みんながどんな問題に苦手としているか、どんな部分につまずきやすいかを調べて、学校の勉強方法をよくするために

ひ
 ことば
 かんしん
 と
 こへい
 国語
 日ごろからの言葉への関心を問う

題材として広告ポスタ
ーや高校野球の選手宣誓

ことば
言葉への関心かんしんを問うと
国語こくご

が取り上げられました。
ふだんから「この広告こうこくは
おもしろいな、何を伝え
たいんだろ？」などと、
いて考える問題もんだいもありま

ことばに関心かんしんを持つこと
が求められています。

「ら抜きことば」につ

した。新聞や雑誌などで
話題になっていたテーマ
です。

小学生のみなさんは、
新聞の見出しを見て「ど
うしてこう付けたんだろ
う」と考えたり、日常会
話でことばの使い方が適
しているか家族で話し合
うしてみてください。

応用力をみるB問題は、
難しくかったですね。特に

最後の「ぐんぎつね」の問題は学力調査では標準レベルのものです。時間が足りなくてできなかった人も、ぜひ解いてみてください。

国語も算数も、主に知識を問うA問題と、考える力や判断力をみるB問題があります。

また学習状況の調査では、さまざまな質問を通じて、国語や算数に苦手意識を持っている子が増えています。

えているのか減っているのかを調べたり、みなさんの学習環境や生活習慣について調べたりし、これをも学校をよくするため役に立てられます。
 今回、調査を受けるのは子どもたちだけではありません。一部の保護者や学校をとりまとめる教育委員会の人たちの取り組みについても調べ、どうしたら学校の授業がよりよくなるかを考える材料にします。

お金と時間がかかること
などから、民主党政権時
代に3割ほどの学校を抜
き出して調査することに
しました。去年、自民党
が政権に復帰し、これか
らは毎年全校で行われる
ことになりそうです。

花火のリーフレットを作
る問題は数ページにわた
っていて、解答に必要な
情報を探すのに時間がか
かったでしょう。登場人
物の意見にそって書くこ
とで、「ひねり」があつた
ので、正答率は低くなる

[illegible]

国語 A問題から

(2) たかしさんは、下のような分け方を考えました。

筋道を立てて考える力を求める
算数

たかしさんの分け方

① 長方形に対角線をひき、2つの直角三角形に分ける。

② 1つの頂点から、縦と横の辺のそれぞれの真ん中を通るように線をひき、4つの三角形に分ける。

1 cm

1 cm

ア

イ

ウ

エ

三角形ア、イ、ウ、エは、もとの長方形の面積の半分の半分になっているのかな。

たかしさんの分け方を見て、なおみさんが次のように言いました。

三角形ウとエは、☆の部分を感じ取ると、どちらも底辺が3 cm、高さが4 cmです。

だから、三角形ウとエの面積は等しくなります。


なおみ

たかしさんは、なおみさんの説明を聞いて、三角形アとイの面積も等しくなることに気がつきました。

三角形アとイの面積が等しいことを、言葉と数を使って書きましょう。

(3) たかしさんの分け方は、下の **1** から **3** のすべてがあてはまっていました。
だから、4 つの三角形はもとの長方形の面積の 4 等分になることがわかりました。

- 1 ① でできた 2 つの三角形の面積が等しい。
- 2 ② でできた三角形アと三角形イの面積が等しい。
- 3 ② でできた三角形ウと三角形エの面積が等しい。

ひろしさんは、たかしさんの分け方を使って、台形を①、②のように4つの三角形に分けました。

すると、面積が4等分にならないことがわかりました。

それは、上の **1** から **3** までの中のどれがあてはまらないからですか。

あてはまらないものを1つ選んで、その番号を書きましょう。

算数 B問題の③から

問題と正答例は国立教育政策研究所のウェブサイト（www.nier.go.jp/）にあります。5年生以下の子たちも挑戦してみてください。

埼玉大学教育学部の金
本良通教授
自分の考えを説明する
活動は算数でも求められ
ています。B③(2)で
は、長方形の面積を4等
分する分け方を考えま
す。5人の子が登場し、そ
れぞれの考え方を紹介。
おたがいの説明を聞くだ

いていくことの大切さが
盛りこまれた問題です。
特に(3)で「ひろし
さん」は、友だちの意見
を聞くだけではなく、ほ
かの問題に活用しようと
しています。

いま、どの教科でも論
理的に筋道を立てて考え
る力が求められています。

きさを求める問題で、以前は6年生で習う内容でしたが、5年生の内容とされたために出題されました。

学力調査で出される問題には、みなさんに「こんな力をつけてもらいたい」というメッセージがこめられているのです。

す。(3)の場合、友だちの長方形についての意見は、台形には当てはまらないことを発見します。筋道のうちのところが当てはまらないかを考えさせる、とても工夫された問題だと感じました。

学校で学ぶ内容を増やした今の学習指導要領の効果を見る問題も見られました。A4はその一つです。単位量当たりの太